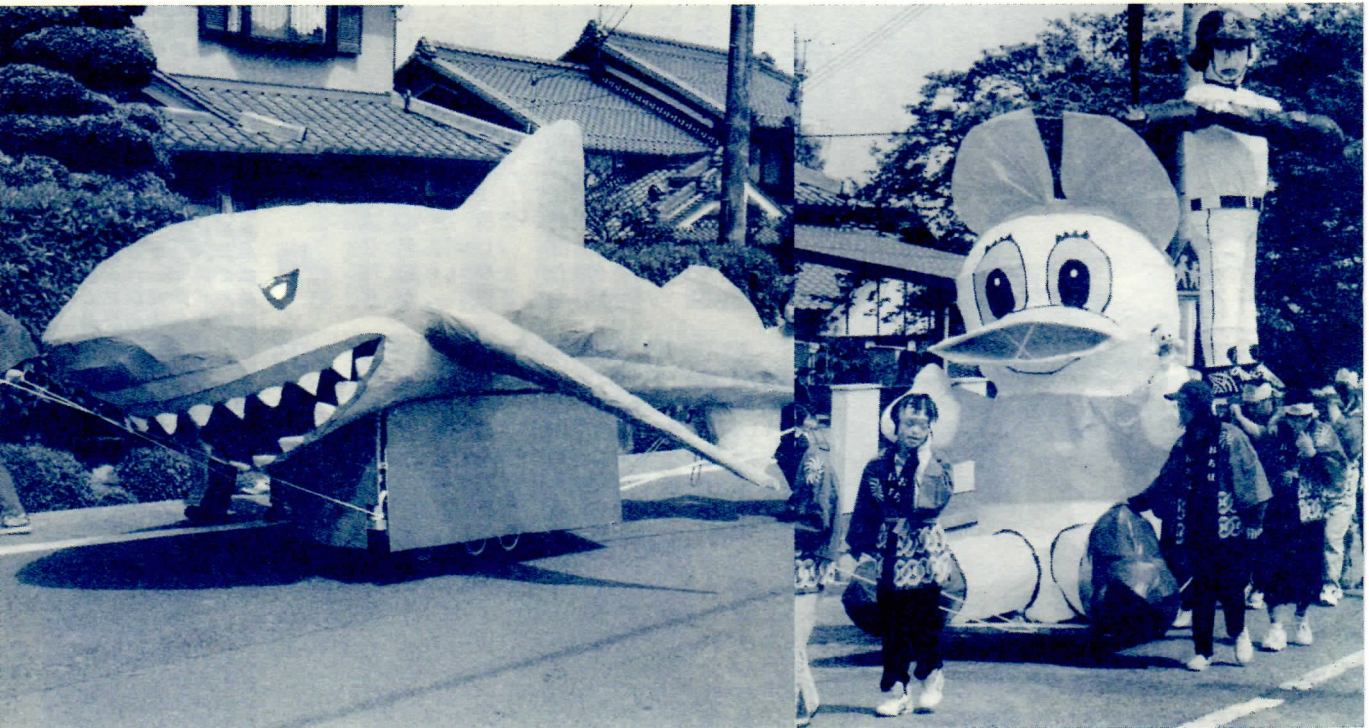




おちほ

第40号 平成13年6月15日 発行 社会福祉法人 椎の木会 落穂寮 発行者 山下 陽一

氏神祭！思いは早や来年？！



前日は雨。しかし、「明日は降らんといてな」の職員の願いが通じたのか、5月1日、雨も降る事なく氏神祭を迎えました。今年度の男子棟は今、海外で活躍しているイチロー（似てます？）、女子棟はデイジーダック、炊事・医務は今春オープンしたUSJをテーマにジョーズ、の3体をそれぞれ分担して作りました。

「わっしょい！わっしょい！」と元氣よく声を出して担いでいき、無事白山神社に到着。今年一年の無事と健康を願いました。

開寮記念日でもあるこの日は、屋敷を外で賑やかにスキヤキを頂きました。涼しい風が吹く中、とても和やかな雰囲気の中、寮生さんもお腹いっぱい食べていました。

今年も地域の方々がたくさん見に来て下さいました。がんばれと声をかけて頂いたり、とても感激しました。ありがとうございました。中には幼い子供も見にきて、おみこしをみて驚いていました。

保護者の方が自分の子供を見ながら、「この子は来年どうなっているのかな。また来年も見ような。」と言っておられるのを聞いて、私自身も「来年は落穂寮はどうなっているのかなあ、またこうして楽しく地域の人達とできたらいいな。」と感じました。地域の人達と楽しい時間が持て、うれしかったです。

昔々今

寮生の幸せを思っています

理事長 増田正司

今日は五月一日、東寺地区の氏神様の「お祭り」だ。寮生が、職員が苦心して作った「おみこし」をかついで威勢よく坂を降りて行った。下の町道に勢揃いした近江学園や一麦寮の、それぞれ趣向をこらした「おみこし」をかついだみ

いなあって、退職した平成2年までに退寮した約220名の名簿をめぐっていて、むかし懐かしい一人一人の面影が浮かんで深い感慨に浸ってしまった。

半数以上が成人施設で仲間たちと交流の生活をおくり、格別の病いはないが長い入院生活の10名余や家庭に戻った50名余の人たち、結婚して主婦になった8人などの皆んなは幸せに過ごしているのだ

ろうか。在寮中や退寮後人生に華やぐことなく亡くなった30名ちかくの人たちを思い浮べると、胸が締めつけられ新たな悲しみに落ちこんでしまう。開寮記念日や同窓会の案内にも返事がない人たちはどうしているのか安じられる。

「寮生の幸せにがんばっていま」と胸を張っても、寮の仕方にも満足か寮生を引きとられた親御さんもいた。存外、親御さんの本音は寮の仕方にも異議がありながら、家につれ戻しても、連れあう仲間はおらず、他から疎外される。寮にいれば仲間との交流があり、寮生中心の生活もある。異議は呑みこんでと思案されたかもしれない。

んなと競って、氏神さんまで練りあがって行く掛声が聞こえてくる。みんなが幸せの一日になるだろう、いつまでもその幸せがつづいてほしい。

僕は、今落穂寮のむかしからの色々を調べているが、在職中一緒にくらしただ寮生がその後どうしているか思

か。その答えを寮生の顔に晴々とした明るさが広がったとき、職員も「良かったね」と喜びを共にして感ずることが出来る。共生共感の生活から寮生の幸せづくりができていたのだろうか、退寮後も生きる喜びの中で幸せに送っているだろうか。

名簿をめくりながら、一人一人の行く末を安じながら、自分が果たした役割の如何を反省して、身の縮む思いでもあった。

▲平成元年開寮記念日の増田理事長と本間(旧姓山本)さん



▲平成元年開寮記念日の増田理事長と本間(旧姓山本)さん

(平成13年5月1日)

昔々今

イヌ又の話しあれ心れ

寮 長 山 下 陽 一

こころいやす動物たち

少し前のテレビですが視力障害の歌手と盲導犬との生活ぶりが紹介されました。大型犬が歌手の生活をかいがいしく支えた後、犬の老化により歌手の手から愛犬家に引き取られるというものでしたが、歌手とイヌの離別の場面は胸からこみ上げるものがありました。

人の生活に役立ち仕事をする犬たちは、盲導犬、警察犬、サーカス犬などしか知らなかったのですが、アメリカの女子刑務所で、しかも最重警備刑務所における犬の訓練機関の実績についてのルポを読みました。

『犬が生きる力をくれた』

(大塚敦子著 岩波書店)

この刑務所に収監されている受刑者たちは殺人など重い犯罪により数十年の懲役刑を課せられた女性たちで、介助の様々な訓練の様子や彼女たちのこころの有様を綴ったものです。日本の刑務所ならば高い塀と鉄条網に囲まれ、「関係

者以外立入禁止」の札と、顔写真にはモザイク処理がされるところですが、著者は刑務所の入り口に「ようこそ、いらっしやい」とあったとか、訓練中のイヌと受刑者の笑顔の写真が載っていました。これなどから、アメリカの成熟社会が感じられました。

刑務所の介助犬の訓練には身体障害の人たちの生活を助ける訓練を紹介していましたが、なかでも発作予知犬に興味を引かれました。この犬は発作の五、二〇分ぐらい前にてんかん発作を予知し飼い主の膝に乗ったり顔をなめたりしてそれを知らせその間に退避場所に移ることができるというものです。

犬がなぜ予知できるのか解明できていませんが、ドッグトレーナーは視覚より嗅覚らしいと推定しています。この能力は訓練して犬に教えることはできないらしく、種類を問わず犬に生まれつき備わっており、なにかのきっかけでそれを発見し発作予知の能力を強化す

るといふものです。

イヌと人の互助関係

今日ではイヌたちの飼育環境はけっしていいものではないと指摘されています。飼い主はペットフードや用具が近くのスーパーで容易に買い求めることができても、イヌとゆっくりくつろげる時間を持つことができているのでしょうか。また、最近では動物生態学でイヌの様子が次第に解明されてきて、従来行なわれてきたトレーニングに疑問が投げかけられています。

たとえば、トレーニング上不適応行動があった場合は首につけた引き綱で合図し矯正するというものですが、これによりイヌも「鞭打ち症」になっていることです。そして飼い主が改めさせたい行動をイヌが正しく理解しているとは限らないで飼い主はイヌに見当外れをやっているというわけです。動物は人間と同じように動物としての「誇り」をもっているといわれ、問題行動を暴力で矯正しようとする飼主とイヌとが信頼関係を形成できないまま攻撃性を強化することになります。このよう

動を取った瞬間に合図をしてその行動を注目させプラス要素を強化することにより適応行動に変えるというものです。

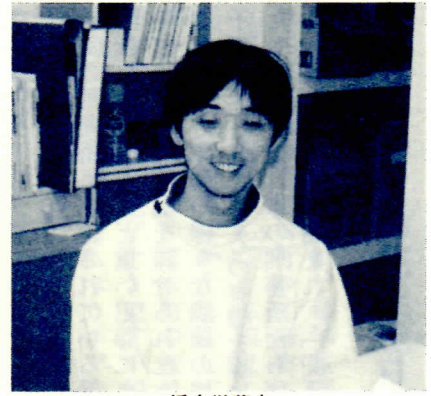
あまりにおおくのひとびとのてを經た動物は情緒不安定になったり、ペットショップは行動異常を起しやすい過酷な飼育環境になっていてその動物らしい本性が発揮されていない状況になっていることが指摘されています。

はたしてイヌごと？

さて、以上らすべてイヌについて論じていますが、「くらしの全体は人と動物の本性、自発性と環境とがつくる」ということを動物生態学者は指摘しています。はたしてイヌのことだけででしょうか。わたしはこれは子育てや介護支援活動において社会への提言ではないかと思えます。イヌの訓練には非暴力によってこそ信頼関係がつけられ、イヌと人との間には適切な間合いが必要であることなど、人間社会に相当する語を逐一入れ替えてみると、納得がいくことばかりです。

参考

『イヌと人のいい関係』（今泉吉晴著 岩波書店「図書」）



橋本栄養士

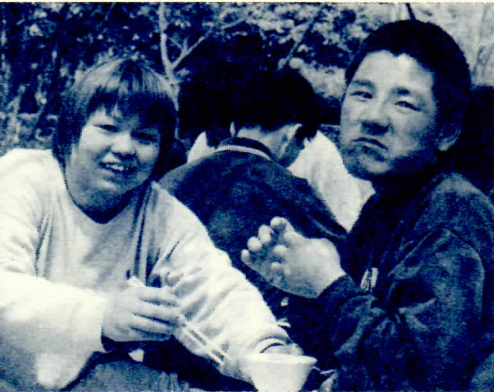
初めまして、今回落穂寮にお世話になることになりました栄養士の橋本照明と申します。大学を卒業してからも就職活動を続けていまして、丸一年経つ頃に落穂寮に出会うことができて良かったと心から思っています。

落穂寮の第一印象はきれいな所だと思えました。面接では一麦寮と場所を間違ったため、大変ご迷惑をお掛けしました。初めて寮長・副寮長にお会いした時は、遅刻した事もあり恐く見えました。また話では、とても大変な所とお聞きしましたので、内心びくびくしながら三月のアルバイト期間を迎えました。正直申しまして、職員の方はとても明るく楽しい人達なので、初めは気使って下さいました。が、今では大変仲良くして頂いております。栄養士としても社会人としても未熟者ですので、いろいろ

ろご迷惑をお掛けすると思えますがその都度御指導御鞭撻のほど、宜しく願います。

抱負は、栄養士としての仕事はもちろん、落穂寮に適した栄養士になれるよう、日々努力していきたいと考えています。目標は、秋岡先生のように信頼される人間になることができればと思っております。

ここからは私事ですが失礼させていただきます。花の独身、年齢は二十三歳、身長は百七十二センチ、体重五十六キロ、趣味は旅行・温泉・寺巡り・スポーツ・音楽鑑賞等です。興味や暇のある方は気軽に御寄り下さい。首を長くしてお待ちしております。



郷田さんと矢部さん

人生いろいろ

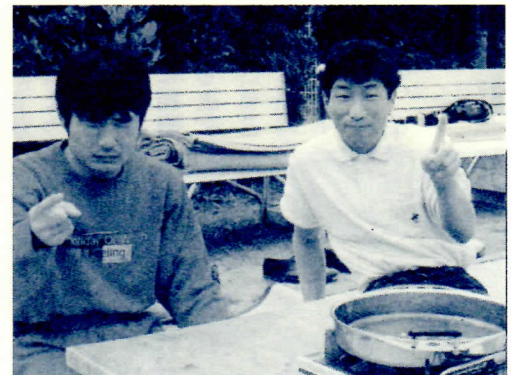
初めまして。今年の四月より、男子棟の職員として働かせていただく郷田幸江(こうだゆきえ)です。

私は、二年前にキリスト教社会福祉専門学校を卒業し、一年間保育園で働いていました。社会人としては二年目ですが、落穂寮の職員としては一年目の私です。

働き始めて一ヶ月が過ぎましたが一日一日が楽しさと緊張と不安でいっぱいの一ヶ月でした。まだまだ、先輩の職員のみなさんにご迷惑をかけっぱなしの毎日です。一日も早く仕事を覚えられる様に頑張っている最中です。

寮生のみなさんと話をしている時や一緒に何かをしている時など、本当に私にとって楽しい時間です。しかしやはり楽しい事ばかりではなく、対応の仕方など色々難しい部分もありますが、少しずつ時間をかけて取り組んでいけたらと思っています。

これから色々ご迷惑をかけることと思いますが、一日一日を大切に過ごし、私らしさを出せるように毎日学び、学んだ事を自分のものにしていけたらと思っておりますので、どうぞよろしく願います。



土佐君と福井さん

5月1日から急に落穂寮でお世話になることになりました福井健太郎です。僕は、高校の時から学童保育所の指導員、大学では共同作業所の指導員のアルバイト、大学を卒業してからは知的障害者施設の指導員と特別養護老人ホームの介護職員をやっていました。また、福祉の分野以外にも目を向けてみようと思ひ、つけもの工場やデパート関係の仕事、学習教室の先生など自分の可能性を見極めた一心でいろいろ体験しました。

ある事をきっかけに自分の将来への展望を考えていく中で知的障害者施設で働きたいと考え、落穂寮の職員の一員として働かせていただくことになりました。ただ、大学では児童中心に勉強していたので以前働いた知的障害者施設での

人それぞれ

あはれびるるる

経験しかありません。今までの経験を生かしながら、それでも新たな気持ちで頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。
—○○○○○○○○○○○○○○○○



船津さんと外山さん

四月から、落穂寮の女子棟で働いています外山真理です。私は華頂短期大学の社会福祉学科の卒業です。こちらに来て一カ月がたちますが、正直言って、戸惑う事や失敗の毎日です。私自身が、もともおつちよこちよいなので、同じ棟の職員さんに、いつも迷惑をかけています。しかし、少しずつでも一日の流れや仕事を覚えて、ときばき動けるようになりたいと思っていますので、よろしくお願ひします。



三浦さんと西村さんと松井さん

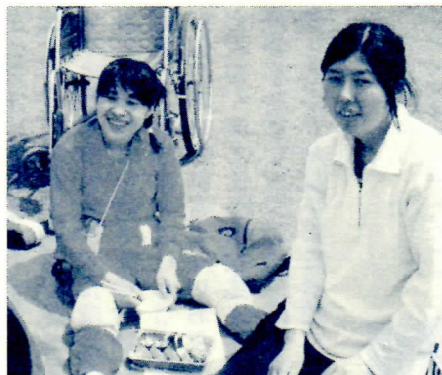
してもらえるように、かかわっていったらいいなと思います。プライベートでの趣味は、音楽鑑賞と映画鑑賞です。好きな音楽をきいたり、好きな映画をみてみると、気持ちにすごくゆとりがもてるように思います。寮生さんの中にも、歌が好きの人、アニメが好きな人がいますが、私達が好きな事ややって楽しむように、寮生さんにも、いろいろな楽しみや喜びを感じてほしいと思います。
—○○○○○○○○○○○○○○○○

私には、大学での施設実習を経験して、福祉の仕事の楽しさを知り、魅力を感じてこの職業を選びました。しかし、働いてみると楽しい事ばかりではなく、寮生さんへの対応やケアなど難しい問題を抱え、大変責任の重い仕事であるという事を実感しました。その分、やりがいのある仕事でもあるという事ですが……。

私らしさを出しながら、少しづつ時間をかけて信頼関係を築いて行こうと思います。その間、色々ご迷惑をおかけすることと思いますが、どうぞよろしくお願ひします。

—○○○○○○○○○○○○○○○○

今年の四月から落穂寮の女子棟で働かせていただくことになった古澤直美といいます。今年学校を卒業して、社会人としても落穂寮で働くのも一年目です。



高田さんと古澤さん

ました。この一ヶ月、とても早く過ぎたように思います。最初は不安と緊張で一日がとても長く感じましたが、まだまだ仕事の順序や自分の役割など分からないことも多くとまどうことばかりです。ですが、大分、寮生さんにも少しずつ慣れてきました。まだ、寮生さん一人一人への接し方、対応については全然完璧とはいえず、寮生さんのみなさんにとってもご迷惑をおかけしていますが、どうぞよろしくお願ひします。一日も早く仕事の内容を覚え、寮生さんに対しても、一人一人にあった対応ができるよう頑張っていこうと思います。精神的にも体力的にもとても大変な仕事ですが、自分がつつと福祉に関わる仕事がしたいと落穂寮にこさせていだいたので自分なりに頑張ります。

新人紹介

春のうららの お花見遠足

トピックス

今年も四月二十日に、毎年恒例の「お花見遠足」へ行って来ました。今回も寮生さんごとに四班に別れて元気に出発！が、しかし、寮からどれだけ歩いても町の桜は青々として緑一色！そうです、鋭い方ならお気づきでしょうが、今年には桜の開花も早く二十日にもなれば残っているのは八重桜ぐらい。でも、「おいおい、どこがお花見遠足だよ。」との職員の心も声も全く関係なく寮生さんはズンズン歩いて行きます。そう、諺にもある通り「花より団子」、桜よりお弁当、遠足は遠い道のりを歩くことに意味があるのです！

さて、目的地の花緑公園には各班ともお昼前には到着。桜のシーズンも終わった平日とあって公園は去年より人影はまばらでも、春の花があちらこちらに咲き、天気の良さも手伝ってとても明るい雰囲気。かえって寮生さんも職員ものんびりできました。

そしてみんなのお楽しみ、お弁当の時間です。



お弁当 time

今日のお弁当はお寿し。ここで問題発生！寮生さんの中におスシを食べられない人が。近くの売店で食べる物を探しても「ありません」のつれない返事。仕方なくのり巻きの中身の卵やきゅうり、いり巻きの油あげだけを職員の分も食べてもらいました。それでもやっぱり物足りない（まあ量が量だけには仕方ないのですが）顔をしているので、「晩ごはんは大盛りでおかわりしような」となぐさめつつ、花緑公園を後にしたのでした。そんなこんなで色々あったお花見遠足も無事終了、みんな元気に寮まで帰ることが出来ました。来年はするからね、山岡くん。

ライス派？ うどん派？

五月三日に男子棟の親子合同飯盒炊さんが行われました。今年も帰省日でゴールデンウィークということもあり、多数の保護者のみなさんが参加して下さいました。当日は朝まで雨が降っていたため、グラウンドは使えず、急遽体育館の横にテーブルとイスを用意、寮生さん達も「さあ、これから何が始まるのかな？」といった感じで、ワクワクしながらお手伝いをしてくれました。テーブルの用意が終わると、大釜を三つ用意。メニューはカレーライスとカレーうどん。ご飯はお炊事に用意してもらいました。ええ？それだとカレーうどんを作ればいいのか、釜は三つも要らないって？それはカレー

を2つ、カレーライス用とカレーうどん用に作ったからです。もちろん味は微妙に変えているという芸の細かさ、決して手抜きではありません。まして火を起こし、寮生さんと保護者のみなさん、それに職員も加わってワイワイガヤガヤとこの2種類のカレーを作っていました。うどんも茹で上がり、食事の用意も整うと、今迄なかなかお手伝いに参加できなかった寮生さんも本領発揮、山盛りのお皿を次々に空っぽにしていきました。2杯、3杯は当り前、デザートフルーツも飛ぶように売って行き、カレーライスもカレーうどんもあつという間になくなってしまいました。毎度ながら皆さんの食欲には驚ろかされました。

五月晴れとは言えないお天気でしたが、楽しそうな寮生さんの笑顔と心がいっぱい、保護者も職員もお腹と心がいっぱいの日でした。

お母さんと楽しい昼食中



春一番!

笑顔も満開!!
お花見遠足

去る4月20日、今年度初めて行なう行事「お花見遠足」がありました。今年のお花見遠足は、昨年と比べると少し歩く距離が短くはなりましたが、石部町の十禅寺公園まで行ってきました。天気にも恵まれ春らしい心地よい風が吹く中、元気に落穂寮を出発しました。道端には4月中旬とはいえ桜も若干咲いており、タンポポやスミレなどきれいな花たちも咲き乱れていて、「お花見遠足」という名にふさわしいものでした。



「コワイナー」

公園に着くと寮生・職員共に待ちに待ったお弁当です。お弁当は寮生さんが自ら背負って持ってきたもので、外で食べるという事の新鮮さと自分で背負ってきたという満足感でいつもとは違う美味さを感じたのか、少し緊張している様子もありながらでしたが、嬉しそうに食べていました。広い芝生の上では、気

持ちも大らかになるのか、いつも以上に職員と会話を楽しむ寮生さんも見られ、和気あいあいとした雰囲気の中で食事を楽しまました。食後は芝生の上で昼寝やおしゃべりをしてのんびり過ごしたり、アスレチックで遊んだり、公園を散策したりとそれぞれが楽しい時間を過ごしました。職員をぐいぐい引っ張りながらアスレチックを登る寮生さんいれば、反対に職員に手を引かれ恐る恐る登る寮生さんもいて、寮では見られないような寮生さんの違う一面や、満面の笑みをたくさん見る事ができました。公園では、本当に寮生さん職員も笑顔絶やした時間が無いと思うくらいよく笑い、よく遊び楽しみました。

昨日に氏神祭が終わったばかりの五月三日に親子飯盒炊きさんが行なわれました。氏神祭での寮生さんの疲れも癒され、さあ今日も外で元気に♪と思いきや、天気はいにくの曇り空。おまけに前日の大雨で運動場には大きな水溜りがごろごろと。しかし、女子棟はそんな事ではめげません!外で食べる事の美味しさや楽しさは格別なものなので、もちろん運動場で決行です。

参加して下さる保護者の方も寮生さんとの再会もそこそこに、美味しいカレーを作るために準備を手伝って下さいました。終いには手伝って下さるどころか、率先して作って下さいました。カレーが出来のを待っている間、美味しそうな匂いにつられて寮生さんがちらほらと外に出てくると、保護者の方は自分の子どもだけ

愛情カレーへいおまち!!

ではなく、他の寮生さんとも話したり遊んだりして過ごすなど落穂の寮生は皆我が子と言わんばかりの雰囲気を感じることが出来ました。

出来あがったカレーは保護者の方の愛情もいっぱい入っており、見るからに美味しそうです。一緒に食べる相手や環境が違う事でもいつもとは違う美味しさを感じたのか、寮生さんいつもより食が進んでいました。ご飯のほうもふっくら炊けているものや少し芯が残っているものも当たりはずれがあつたようですが、それも飯盒で炊く醍醐味と感しながら美味しくいただきました。

天気にも恵まれなかった飯盒炊きさんでしたが、空っぽになったお鍋や飯盒を見ると、寮生さんや保護者の方のお腹や気持ちの満足度がわかる事ができ、楽しい時間を過ごして頂けたのではないかと思います。



△ハイ、ピース!!

暑くもなく寒くもなく、気分も晴れるほどの良い天気だった事もあって、充分に自然を楽しむ事ができ、春を感じることができた一日でした。



△とってもおいしいカレーライスでした。

